

2011 年度 第 3 回 カンボジアプロジェクト ミーティング議事録

5 月 27 日 (金)

参加者：吉田、平川、Ly、安富、江口、曾利、増田、原、若松 (敬称略)

欠席：大福、肥田 (=6 月から)

司会：曾利

議事録：若松

【本日の議題】

1. 活動報告、進捗状況
 2. 輪読
 3. 勉強会
 4. 諸連絡
-

1. 活動報告・進捗状況

◇ 活動報告

- 千里でのプレゼン：月曜日 (1~2 限)
 - ・ in 大ホールでの告知！
 - ・ 参加できる人は、できるだけ参加して経験しておきましょう！
(来期から学部生がプレゼンをおこないます。)
- 交流学习
 - ・ メンバー：大福・原・若松
 - 人手が足りなければ参加者を増やす
 - ・ ミューズへ行き、打ち合わせなどをおこなう
 - heavy になる可能性あり (多いときは週 1 でミューズへ)
 - ・ 土曜日の 9:30~11:50 (予定)
- スタツア
 - ・ 1 名決定!
 - ・ 宣伝で、インフォメーションシステムの『お知らせ』は使えないのか？
 - 不可能…NPO と EPS 主催なので、「関大」の名前を使えない
衛生面・保険加入等の問題もあり
 - ・ 12 名 (+成一さん) の分の航空券は確保済み
 - ・ 事前準備についてこれから話を進めていきましょう

☆ 進捗状況

- 「ひらめきときめき」のポスター完成【Ly・増田】
 - ・ 大阪府下の高校に掲示
- 「カンボジアの小学生の1日」【曾利・江口・原】
 - ・ 6月17日 or 6月24日には使うため、それまでに完成させる
 - ・ 絵コンテ・構成などを考えてからのほうが作りやすい
 - ・ 対象：小学3年生（飽きさせないような工夫が必要）
 - ・ ナレーション
 - － 次回ミーティング（6月10日）の美声コンテストにて決定！
 - ・ 分からない映像があれば成一さんまで
- 6月1日から千穂さんが教育実習
 - ・ 頑張ってください！
- スタディツアーの動画【肥田】

2. 輪読

《青年海外協力隊》【担当：曾利】

キーワード：「現地社会への溶け込み」「草の根志向」「民衆志向」

- 千穂さんの疑問

『国際平和機構としての国際連合の成立に象徴される理想主義と、ソ連邦を中心とする共産主義の発展途上国への浸透を防ぐという西側諸国の政治的理由』（p.72）

→ 「理想主義」と「共産主義」の「政治的理由」とは？

- ・ 国連は理想主義
 - － 国連は常任理事国から成り立っており、第2次世界大戦の戦勝国がほとんどを占めている。そのため、戦勝国が主導となり、『戦争で負けた国も、みんなで世界を平和にしていこう』という方針。
- ・ 共産主義
 - － ベトナムなど、アジアの国はソ連邦を中心とした共産主義
 - － アジアを共産主義国家にしないよう、日本の敗戦後に支援してきたのはアメリカ＝民主主義
- ・ 冷戦は「ロシア（＝共産主義）」と「アメリカ（＝民主主義）」の戦い
- ・ 国連が掲げている“世界平和”という『理想』と現実とのギャップ
 - － 「どこに利益があれば、世界は平和となるのか」

原：アメリカが国連を牛耳っている＝アメリカ視点の平和

国連の目指すところは「世界の平和」であるのに、飢餓・戦争・貧困など、解決すべき問題がたくさんあるのに手を出さない＝理想主義？

- ・ 南北問題とは何か？
 - － 国境を挟む、北側（主に北半球）に属する先進国と、それより南に位置する発展途上国との間の経済発展水準の格差問題。北と南の貧富の差。

ディスカッション

① 「文化交流」

- － 国の税金を使ってまで文化を教えに行く意味・必要性はあるのか？

原：どのような意図があって日本は文化を教えに行くのか？

アメリカの場合、日本の戦後に兵隊を送り込んだのは、文化を浸透させるためであり、今もその文化が根強く残っている（コカコーラ・マクドナルドなど）

曾利：『相互の交流を重視し、互いが学び合う面を強調する方向が適切』（p.88）

江口：日本人が教えられることを教えようという意図ではないのか？

原：どういうところをどのように教えたいのか？

曾利：日本の文化を教えても、その状況次第では押し付けになってしまいそう

原：単に教えに行くだけなら無意味

Ly：それを行って、日本が手に入れること、日本に意味のあることは何か？

● 「青年海外協力隊」HP

- ・ さまざまな分野に分かれている（教育・スポーツなど）
- ・ 教育分野に『日本語』が含まれている
 - － インドネシアの教育大学で教えるなど、学校に配属されて教える
 - － 南米では日系人が多いから日本語を教えている

● 税金を使ってというところに疑問

- ・ なぜ税金を使うのか、青年海外協力隊のやり方？

安富：日本に親近感を湧かせるため？

千穂さん：日本の広報をしに、海外へ行くという理由はかなり大きい

普段から仲良くしていたり、支援・協力していたりすると、国と国がぶつかりあったときに日本にとって有利な解決に向かいやすい（普段の行いが良いと、何かあったときに見逃してくれたりなど）

今の日本の状況を例にすると、地震が起きたときに支援してくれる。外国は、いつもお世話になっている日本に恩返しをしよう、と思ってもらえる

- 日本の「いつも支援してくれている」という実績
 - 『人間関係の構築＝政治的・国益』に繋がる

成一さん：なぜ“中年”ではなく“青年”なのか？

日本人を育てようという、“日本人の育成”が協力隊自体の目標に存在する
→それもまた、青年海外協力隊の掲げる『教育』の一種である

曾利：「文化」の柔道・剣道などのスポーツなど・・・

『国益』を重視すると、文化を教えにいくことに納得

② 「現地社会への溶け込み」「草の根志向」「民衆志向」の3点が何度も繰り返し出てきて大切であるとされているが、デメリットは何か？

- 「溶け込み」とは？
 - 隊員が派遣され、こちらの技術をそのまま伝えるのではなく、同じ立場に立って、現地の人たちと一緒に生活していくという志向のこと

富安：千穂さんが言っていたように、『国益』を求めておこなっているなら？

成一さん：青年海外協力隊の大義名分は「人道的支援」である

富安：技術開発をしたとしても、プラマイがない 活動の範囲が狭いのか？

増田：衛生面に問題がある。感染症や保険など

原：ネットワークの回線を広げるべき？

千穂さん：前回、トップダウンの説明をしたが、協力隊は現地に入ってやろうという下からの協力である

③ 青年海外協力隊の問題点とは何か？活動内容は本当なのか？

- 批判的な意見が掲載されているサイトがある
 - いざ現地に行くと職場がなくなっていたり、HPに記載されている内容と仕事内容が異なっていたりなどはよくある
 - 現地ではなにが起こるのか分からない、**臨機応変さが大切**

3. 勉強会

教育班：原・大福

- カンボジアの近代教育
 - 現状と課題
- 近代教育
 - ・ 給食はない
 - 日本でも 1日 200円
 - ・ UNESCO (WFP) が給食を支援している



あんわーは毎月募金をしている！
「緊急のところへ送ってください」
→今の行き先は東北か？

- カンボジアの学校の実態
 - ・ 学校までの距離が遠い
 - ・ 学校に行かせない
 - 学校で学んでいることが実生活に活かさない
 - 親が教育を受けていない
 - 意味がないと感じている
 - ・ 教師になる人が少ない
 - 社会的地位が低い
 - ・ 中学を卒業した人が教師になっている
 - 小学校で教えている (質・内容にばらつき)
- 疑問点
 - ・ 学習塾
 - 教師が不足しているのになぜ学習塾？

Ly：学校で教えるよりも、家で教えたほうが教師の給料が良い

安富：お金がある方がいい教育を受けられるのだろうか

- ・ カンボジアの大学って？
 - 何か目的があって行っているのか？行くメリットは？
- 現地で見たこと【成一さん・千穂さん】
 - ・ 小学校の先生
 - 中卒でティーチャートレーニングスクール(国営 or 私营)に2年間通い、ライセンスを取得する

- 中には無免許で教えている先生もいる
 - ・ 塾
 - NGO の活動の一環
 - 教師を雇い、都合のよいときにきてもらう
 - ・ 教師の質や教室環境
 - あまりよくない・・・
 - ひたすら反復音読
 - 説明・解説があまりない
 - 教室の壁が薄い
 - 隣からも反復音読
 - 一応、進級テストはあるが、どのレベルのものかは不明
 - ・ 二部制
 - 午前中は低学年、午後から高学年
 - 学校がない時間帯は学習塾
 - ・ 大学は金銭に余裕のある人のみ
 - 授業のレベルはあまり高くない
- 教育班の調べ学習の位置づけ
 - ・ 小学校何個ぐらいあるのか
 - ・ 科目は何があるか
 - ・ 大学に行く人の意味は？
 - 国のため？
 - 仕事しながら夜間
 - ・ 日本との比較図（統計データ）
 - 学校数・費用など
 - ・ 就学前教育（幼稚園）はあるのか？通っている人はいるのか？
 - ・ 高校の実態
 - 教師になるのはどんな人か？
 - 高校のレベル
 - ・ 課題を解決するための取り組み
 - ・ 義務教育以降の『技術高校』と『職業訓練校』
 - カレッジ：職業訓練のための学校
 - ・ 『教師』をどのように教育するのか？
 - カンボジアの取り組み
 - ・ 文化

- まちがえることが恥ずかしい=疑問点があっても質問できない
- ・ 2001年から教育戦略プログラム
 - 教育の開発
- ・ 教育制度の地方分権化
 - 追々学んでいきましょう！

4. 次回連絡

- ミーティング：6月10日(金) 18:00~
 - 千穂さんは教育実習中のため欠席です。頑張ってください！
- 輪読&司会：安富
- 共有ツールについて
 - ドロップボックス（クラウドビジネスの1つ）を使用
 - 登録していない人は成一さんが招待していただきます